

おおぞら 12月・1月

「イチョウの葉っぱ、全部なくなっちゃったね!」と、年中組の女の子が木を眺めていました。秋も深まり、園庭で遊べるのも残りわずかです。子ども達は、雲梯や登り棒などにも意欲的に取り組んでいます。自分の目標に向かって努力することは、とても大切な経験です。

12月・1月の予定

・11日(火) ~ 13日(木) 餅つき

教室で餅米を蒸し、英会話講師や運転手さんにも手伝ってもらいながら、こども用の臼と杵で子ども達が交代で餅つきをします。餅つきの組は、ランチの主食はお餅です。

11日(火)	さくら・りんご・らいらっく・しらかば
12日(水)	もも・はるにれ・くり・かえで
13日(木)	さくらんぼ・いちょう・ぽぷら・くるみ



・15日(土) おおぞらバザール・・・15時~16時
おおぞら望年会・・・16時~18時 ※どちらも希望参加です。
※後日、詳しくお知らせします。

・21日(金) 二学期終業日(通常通りの時間です。ランチもあります。)
冬の集会・・・ホールに全園児で集まって、歌や教師のバンド演奏を予定しています。

・25日(月)~1月18日(金) 冬休み
・1月21日(月) 三学期始業日(通常通り、月曜日でお弁当がいります。)

冬休みのハイジについて

12月25日(月)~12月27日(木) ・1月7日(月)~1月18日(金) です。
※後日詳しくお知らせします。

<お知らせ>

来年の4月から園だよりをメールで配信します。3月までは、移行期間として今まで通りプリントしたものと、メール配信も行います。また、3学期から写真の掲示はWeb(パソコンやスマホ)のみでご覧いただけます。11月の参観週間では、今まで通り、幼稚園にも写真を掲示します。子ども達にも資源を大切にすることを伝えていきます。できるだけ、紙を無駄に使わないように考えています。

年中組登山の写真について

写真屋さんとの打ち合わせにミスがあり、年中組の天狗山登山の日に写真屋さんが来なかったため、写真を撮っていません。集合写真は、園長が撮影しました。無料で差し上げます。

クリスマスの本当の話

毎日、世界のどこかでお祭りがおこなわれているかもしれません。でも北極に近いフィンランドの人も、南極に近いアルゼンチンの人もアメリカの人もオーストラリアの人もいっしょに、はなやかに祝うお祭りはクリスマスだけです。世界一大きなお祭りといえるかもしれません。

北ヨーロッパの冬は、とてもきびしいものです。夜の明けるのはおそく、日ぐれは早くやってきます。長い夜は、まったくのやみ。まるで死の世界のようです。そんな日が、くる日もくる日もつづくのです。もう春なんてこないのではないかと不安になるほどです。でも冬至をさかいに、少しずつ日が長くなり、季節は冬から春へとかわっていきます。そこで、むかしから北ヨーロッパの人たちは、この日を「光の生まれる日」としてお祝いしてきました。また、この日のくるのをまって、やどりぎや、ひいらぎ、もみの木の枝をとってきて、家のなかや入口にかざりました。これらの木の枝は、健康や豊作を与えてくれる魔法の力があると信じられていたのです。日本のお正月にかざる門松にもにていますね。クリスマスツリーは400年ほど前にドイツではじまったといわれています。

今から1600年もまえのこと、ヨーロッパの東、小アジアのミラという町に、ニコラスという男の子が生まれました。やがて成人すると、司教になり、セント・ニコラスと呼ばれて、多くの人の尊敬をうけるようになりました。子ども達に贈り物をするというのでたいへんな人気でした。子ども達はセント・ニコラスが大好きでした。なんどもなんども名をよんでいるうちに、もっといいやすいサンタクロースというよび名にかわったのです。また、むちうちおじさんをつれてくることもありました。このむちうちおじさんは、こらしめの袋をかついで、かた手に木の枝のむちを持ってあらわれます。そしていい子にはご褒美をくれますが、わるい子は袋に入れてつれていっちゃうぞというのです。

イエスキリストの本当の誕生日は誰も知りません。聖書にあるイエス誕生の物語にはその日がいつだったか書かれていないのです。それなのになぜ12月25日がイエスの誕生日になったのでしょうか。キリスト教ではイエスの誕生はとても大切な意味をもっているのに、日にちがはっきりしないのでは困ります。それで、一時は1月6日、公現祭の日(イエスが3人の博士にあった日)にお祝いしていました。その後、古い暦で「光の生まれる日」といわれていた12月25日がふさわしいと考えられる様になったのです。今から1600年以上まえのことです。

1989年12月号 (月刊) たくさんのふしぎ「クリスマス クリスマス」より

2018年11月15日(木) おおぞら幼稚園